

第16回マーチングバンド・パトトワリング岡山県大会 審査規定(審査員用)
～マーチングバンドの音階～

1. マーチングバンド部門審査担当者と審査内容

(1) ショー全体の効果(篠原 修 先生)

- ・音楽効果
- ・視覚効果

(2) 管楽器の技術(目良 康浩 先生)

- ・管楽器の技術
- ・全体的効果

(3) 打楽器の技術(鈴木 夕貴 先生)

- ・打楽器の技術
- ・全体的効果

(4) カラーガードの技術(樋口 亜紀 先生)

- ・カラーガードの技術(カラーガードがない場合は演技・動きの技術を審査)
- ・全体的効果

*全体的効果(目良先生、鈴木先生、樋口先生)

管楽器の技術、打楽器の技術、カラーガード、演技・動きの技術それぞれの
観点から作品全体の効果についての審査。

審査委員長 山崎 浩(岡山県マーチングバンド協会相談役)

2. マーチングバンド部門出演団体数(編成の別はない)

コンテスト: 中学校2団体、高校5団体、一般2団体

フェスティバル: 幼保1団体(中国大会参加意思あり)

3. コンテストの部の審査

(1) タイムオーバー等による減点はない。上位大会で問題となる点がある場合は審査委員長より各団体に注意を促す。

(2) ショー全体の効果、管楽器の技術、打楽器の技術、カラーガード(演技・動き)の技術の内容でそれぞれ1名、計4名で審査する。

(3) 各審査内容の2つの観点についてA～Eの5段階評価をする。

(4) 金賞、銀賞、銅賞については全ての演技終了後、審査委員会にて決定する。

(5) 中学生・高等学校・一般の部の各部門で各2団体以上のエントリーがあった場合、審査員の審査内容の観点から最も印象に残った団体に対してキャプション賞として、ショー全体の効果(篠原先生)からパフォーマンス賞、管楽器の技術(目良先生)からブラス賞、打楽器の技術(鈴木先生)からパーカッション賞、カラーガードの技術(樋口先生)からビジュアル賞を贈呈する。

4. コンテスト部門の審査の基本的方針（ICレコーダ審査）

- (1) 県大会レベルで各団体の優劣を競うことを目的とせず、中国大会、全国大会に向けたアドバイスをすることが主の目的である。
- (2) A～E の5段階評価では同じ評価をつける団体が複数いても構わない。
- (3) キャプション賞は、部門ごとの団体名を書いた専用用紙に○をつけて提出。

5. 審査委員会の進め方

- (1) 審査委員会は集計係による集計後、審査員と審査委員長、理事長の合議で賞の方針を決定する会議である。審査員の意見が二分された場合は審査委員長が最終判断をする。
- (2) 審査員は集計係が、各団体の A～E 評価をつけた一覧表を提示するので確認する。（キャプション賞の確認もここで行う）
- (2) 一覧表は A=1,B=2,⋯,E=5 と点数化した全8観点の席次合計で並べ替えたデータが掲載されているので、これを元に、金賞と銀賞の線引きの案を理事長が示し、審査委員の合議により賞を確定する。

6. フェスティバルの部の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はない。
- (2) 審査方法は、コンテストの部に準ずる。
- (3) すべての団体に優秀賞を授与する。
- (4) 同一カテゴリーに3団体以上団体のエントリーがある場合は、最も観客を了したと判断された1団体にフェスティバル賞を授与する。（今年度は該当なし）

7. その他

- (1) 開会式は審査員席にご着席ください。アナウンスの紹介でご起立、一礼をお願いします。
- (2) ICレコーダの操作審査員の付き人が行うので、先生方の操作の必要はありません。
- (3) 審査委員会後、最終的な審査結果資料をお渡しします。閉会式参加の必要はありませんが、閉会式後に駅までお送りします。